

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
		※ 提出された情報は、海外留学 HP に掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	シンガポール国立大学 (国名: シンガポール )	
留学先学部名(またはプログラム名)	工学部	
留学期間	2014年 8月 ~ 2015年 5月	
学部/学府・年次	工 学部/学府	3年次~ 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	⑥・無 (期間: 1年 )	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため ②. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したため 4. その他(具体的に記入) 実験などの互換不可能な単位があるため。	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をされましたか?	していない。	
進路の予定	1. 就職 ( 時期: 4月から / ( )年 ( )月から) ②. 大学院進学( 東京 大学 工 学府/研究科 ) 3. その他(具体的に: )	
前項で1と答えの方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)		
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	していない。	
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?	就活をまだしていない。	
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	私が主に機械工学系の授業をとったが、授業は講義とチュートリアル、実験に分かれ、講義において学んだことを少人数制の問題演習を行うチュートリアル、少人数グループで行う実験で定着させる形だった。実験という科目があるのではなくて、流体力学、機械工学などの科目ごとに4回程度の実験がある、テストの過去問が公式に学校のサイトにあげられている、成績評価が相対評価、課題提出は一学期に1~3回ある程度でほとんどない、といったところが九大とは大きく違った。	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語学面 特にサポートはなかった。</li> <li>・勉学面 少人数制の演習、実験などがよかった。</li> <li>・精神面 私は精神面のサポートが必要にはならなかったのでよくわからない。</li> <li>・住居、生活面 私が住んでいた寮(Prince George's Park Residence)は、見かけはいいが中は結構ぼろぼろという感じで周りの日本人留学生からは不評だったが特に私は問題を感じなかった。Utown Residenceの方が新しく綺麗なのでおすすめだ。おそらく最初の学期はPGPに配属されるので、気に入らなければ次学期で移れば良いと思う。寮の食堂はPGP、Utownともに最初こそ種類の多さに感動するが1学期もすれば飽きるのではどこでも同じだと思う。Hallはご飯付きプランもあるみたいだが、こちらも飽きたらしんどいみたいだ。</li> </ul>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業について 九大の授業は教授の自己満足で一部の学生にしか理解できていないこと長々とやること多くあるが、NUSでは実践重視で難しいところの証明は抜きにして先に進むことが多かったように思う。NUSの方が授業内容すべてを学生に理解させる、という意欲を感じた。</li> <li>・学生について 学生のレベルの平均は九大より上だとは感じたものの大きな差は感じられなかったが、とびぬけて優秀な学生は九大よりはるかに多くいるように思った。</li> <li>・教授について 丁寧に教えてくれる教授もいれば分かりにくい教授もいる。日本と同じ。</li> <li>・設備 学部ごとに設置されている食堂はいろいろな料理が楽しめた。現地食に飽きてもマクドナルドやサブウェイ、バーガーキングのようなチェーン店もあってよかった。ジムやプール、テニスコートも無料で使えるものが多く充実していると感じた。</li> <li>・立地 伊都キャンパス、は言い過ぎだが立地は其処までよくなかった。都心まで40分もあれば行けるが、大学の周りは割りとなんにもない感じだった。</li> </ul>

<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>授業について(主に理系で NUS に留学をする人に向けて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2年生向けの授業は大人数で友達を作るのは難しいので、人数が比較的少ない高学年向けの授業をとるのがおすすめ。</li> </ul> <p>生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・MRT(電車)を使えば基本的にどこにでも行けるが、バスを使うことで安く、ダイレクトに目的地に着くことができる。バス停のアナウンスはないので最初は難しいが慣れると非常に便利。Singapore Directory というアプリがおすすめ。</li> <li>・学校の食堂では基本的にクレジットカードは使えない。街中では基本的にカードが使えるが、現金はある程度必要。</li> <li>・私はボルダリングクラブに入ることで楽に友人を作ることができたのでスポーツが好きなら部活をするのがおすすめ。基本的にサークルは無く部活動しかないが、日本の部活動に比べて週2~3回なのであまり大変ではない。</li> <li>・準備について</li> <li>・日本で City Bank の口座を開設して利用した。図書館、学校の最寄り駅など近くにも ATM があるのでおすすめ。</li> <li>・英語の学習は toefl のスコアをとるための勉強で十分と思う。</li> </ul> <p>寮について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一番のおすすめは Utown のエアコンなし。Utown のエアコンは課金制なのでエアコン付きでも使用しない人が多い。エアコンは無くても生きていけるが、私は暑くて扇風機を購入した。PGPのエアコン有は使い放題だが割高。</li> </ul>
<p><b>2. 事前手続き(ビザ申請など)</b></p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>Student Pass(学生ビザ)</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>覚えていない。</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>シンガポール大学に申請すると丁寧な手順ガイドが送ってくるのでそれに従ってやれば問題ない。事前に書類を記入し、現地にて提出、1週間後くらいにもらうことができる。証明写真が必要になるが眉毛が髪の毛で隠れているともう一度その場で撮影させられる。</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p></p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>一年間の留学の場合は事前に HIV、肺結核の検査を受けなければならないが日本で英語の診断書をもっていてもほとんどが受理されない。大学の病院で安く検査できるので、シンガポールについてから検査するのがおすすめ。</p>



<p>お金の管理や受け取り（銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など）について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。</p>	<p>・学校の食堂では基本的にクレジットカードは使えない。街中では基本的にカードが使えるが、現金はある程度必要。          ・日本で City Bank の口座を開設して利用した。図書館、学校の最寄り駅など近くにも ATM があるのでおすすめ。</p>
---	--

#### 4. 住居、生活環境

<p>住居の種類(○印をつける)</p>	<p>・<input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他( )</p>
<p>住所／電話番号</p>	
<p>費用(月額)</p>	<p>4万5千円程</p>
<p>どのようにして見つけたか</p>	<p>大学から申請を受理されれば案内が来るのでそれに従って手続きをすれば問題ない。</p>
<p>次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。</p>	<p>Utown がおすすめ。新しい。</p>
<p>留学生を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報</p>	

#### 5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト

サイト名	URL	コメント

#### 6. その他の特記事項

--